

お知らせ

第2回プレカンファレンスのご案内

開催主旨

日ごろより日本バイオセーフティ学会の活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、本学会では昨年同様、プレカンファレンスを実施する運びとなりました。プレカンファレンスでは、アクティブ・ラーニングによるバイオリスク管理トレーニングを行う予定です。今年度は第21回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会前日の2022年12月5日（月）に「バイオリスク管理の進め方－曝露対応を想定したリスク評価の実践－」をテーマに実施致します。曝露発生時には被害を最小限に抑えることや二次災害防止など速やかで冷静な判断が求められますが、これは準備なしにできるものではなく、様々な要素を踏まえた事前リスク評価の実施が不可欠です。

一方 WHO 実験室バイオセーフティマニュアル第4版では、病原体、作業手順、人的要素等を組み合わせたリスク管理手法が紹介されており、今後はバイオリスクについて事業所ごと、作業者ごとの判断と適切な行動がますます求められるようになるものと思われる。

本プレカンファレンスでは、WHO 実験室バイオセーフティマニュアル第4版で紹介されている、マトリクスを用いたリスク評価に基づくバイオリスク管理を実践します。この際、グループディスカッションを行い発表することで、参加者自らが能動的に学び、技術を習得し、現場で活かすための実践的なシミュレーションを行うことができるようなカリキュラムになっています。皆様には本プレカンファレンスにご参加いただき、習得されたバイオリスク管理手法を職場や関連施設で実践することで、実験室感染の防止や曝露時対応計画にお役立て頂ければ幸いです。

1. 開催日時：2022年12月5日（月）11:00～17:00
2. 開催方法：Zoom を利用したオンラインにより実施（パソコン等通信機器をご用意ください）
※当日会場で参加される場合は Zoom で聴講し対面でディスカッションして頂くこととなります。通信機器を使用しますので、Wi-Fi、電子メール及び電子ファイル（特に Word）の使用が可能な通信機器をお持ちの方はご持参ください。
なお、会場参加の場合は遅くとも 13:00 までには会場入りくださいますようお願い致します。
3. プログラム（進行状況により時間がずれる場合があります）

10:30～ Zoom アクセス開始
11:00～12:00 イントロダクション
12:00～13:00 昼食
13:00～13:30 バイオリスク管理の考え方、バイオリスク管理の手順
13:30～15:00 バイオリスク管理の実践①
[演習1]マトリクスを用いたリスクの評価
14:50～15:00 休憩
15:00～16:30 バイオリスク管理の実践②
[演習2]リスク低減のためのリスク管理戦略の策定
16:30～17:00 質疑応答

4. 定員：20名（先着順）

5. 参加費：

会員は無料 非会員は3,000円（資料代として。ただし総会・学術集会参加者は無料）※

※資料代の支払い方法については担当よりご連絡いたします。

6 参加申込：別添参加申込書にて11月18日（金）までに下記へ直接お申し込みください。

先着順となります（定員になり次第締め切らせていただきます）。

申込先

一般社団法人予防衛生協会内 日本バイオセーフティ学会事務局

第21回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会プレカンファレンス

担当：小野孝浩 柴田宏昭

TEL 029-828-6888 FAX 029-828-6891

E-mail：jbsa-gakkai@primate.or.jp